

## 〔フレックスタイム・カリキュラム制度による履修モデル〕

年次	授業科目	単位	履修方法の例	備考
第1年次	前期	課題研究	2 主指導演習 各週土曜 副指導演習Ⅰ (指定日曜)	
		○○教育基礎特別研究 ○○教育課程特別研究 総合共通科目	2 A教員各週土曜講義 5～7月 2 B教員集中講義 8月中4日間 2 研修施設合宿(2泊3日)	
第1年次	後期	課題研究	2 主指導演習 各週土曜 副指導演習Ⅱ (指定土曜)	○○学会誌投稿
		○○教材特別研究 総合共通科目	2 C教員集中講義 2月中4日間 2 研修施設合宿(2泊3日)	○○学会誌論文掲載
第2年次	前期	課題研究	2 主指導演習 各週土曜 副指導合同演習 (サテライト)	博士候補認定試験受験 博士候補認定試験合格
		他専攻の授業科目	2 D教員集中講義 8月中4日間	
第2年次	後期	課題研究	2 主指導演習 指定日 副指導演習Ⅰ 〃 副指導演習Ⅱ 〃	主指導教員及び副指導教員による学位論文作成の指導
				学位論文作成着手 △△学会誌投稿
第3年次	前期	課題研究	2 主指導演習 指定日 副指導演習Ⅰ 〃 副指導演習Ⅱ 〃	△△学会誌論文掲載
	後期		学位論文公聴会発表・最終試験準備	学位論文完成・提出 公聴会・論文審査 最終試験 修了認定・学位授与
合 計		22	(注)この履修モデルは、3年間の全期間についてフレックスタイム・カリキュラム制度を適用し、その間に修了要件単位数22単位を修得し、かつ、学位論文提出要件(学会誌論文掲載2編)を充足した場合のものである。	